

まちの話題



仲間とともに楽しんで挑戦する



2月18日(土)・19日(日)に静岡県で開催される第45回東海U12バスケットボール大会に出場することを報告するために、渡邊咲希選手、大橋由加選手、清水優奈選手、鈴木小町選手、塚本あすわ選手が2月14日(火)に川地憲元町長を訪問しました。

選手たちは「大きい大会ですが、楽しみながら一つでも多く勝てるように臨みたいです」「チームを引っ張っていけるように、盛り上げていきたいです」と大会への意気込みを話しました。町長は「攻守の入れ替わりの激しいスポーツで、体力勝負になると思いますが、日頃の練習の成果を発揮して活躍してきてください」と選手たちを激励しました。

引きつごう伝統 届けよう感動



2月16日(木)に町民会館にて、養老小学校6年生児童による令和4年度卒業記念公演オペレッタ「養老物語」が上演されました。養老小学校では、誰よりも真面目に働く親孝行息子「源丞内」の生き方や精神を伝えるため、毎年、6年生がこのオペレッタを披露し、後輩たちへ引き継ぐことが伝統となっています。先輩たちから受け継いだオペレッタを、自分たちなりに工夫し進化させて創り上げ、堂々と披露する姿に、鑑賞した保護者や教師は感動で胸を打たれ、5年生の児童は伝統を守るため、真剣な眼差しで見つめていました。

ご長寿おめでとうございます



ひ孫さんたちと一緒に記念撮影をする田中榮子さん(中央左)

田中榮子さん(上方)が100歳の誕生日を迎えられ、3月9日(木)に川地憲元町長から長寿のお祝い状とお祝い金が贈呈されました。

新聞を毎日読んでいるので、いろいろなことを知っているそうです。食べることが好きで、この歳になってもせんべいやお肉などの硬いものも食べることができ、好き嫌いせずなんでも食べて健康的に過ごしているそうです。

音楽からフェンシングへ華麗に転身



3月1日(水)に松山琴愛選手(大垣養老高校2年生)が、3月24日(金)から26日(日)に長崎県で開催される第47回全国高等学校選抜フェンシング大会への出場を報告するために川地憲元町長を訪問しました。松山選手は「中学生までは部活で音楽をやっていましたが、高校から心機一転、フェンシングを始めました。大会には楽しみながら優勝を目指して臨みたいです」と話しました。

町長は「松山選手が活躍することで、競技人口の増加に繋がると思うので、どんどん実績を残していってください。継続は力なりという言葉があるとおり、長く続けていって、ゆくゆくは指導する立場になってもらえると嬉しいです。大会は強い人揃いだと思いますが、いつも通り、自分の持っている力を発揮してきてください」と激励しました。